

- 代表者 代表取締役社長 草野 輝彦
- 設立 2014年6月10日
- 資本金 500万円
- 従業員 6名（臨時社員等を含める）
- 電話 0942-65-7923
- FAX 0942-65-7924
- e-mail ocean@mizuki-bio.co.jp
- HP-URL <http://www.mizuki-bio.co.jp>
- 連絡担当者 研究主任 小柳 暁子

輝く未来のために 遺伝子解析 無限の可能性

【事業概要】

IonPGM™次世代シーケンサーによるシーケンシングサービス（細菌叢解析（16S メタゲノム解析）、トータルメタゲノム解析及び微生物メタトランスクリプトミクス）を基盤技術とし、環境、農林水産業、美容など多彩な分野へ展開するとともに、ミジンコ等による化学物質の生体影響試験など、最新のバイオテクノロジーを通じて社会、環境へ貢献する会社です。

【製品・サービス内容】

■ IonPGM™次世代シーケンサーによる シーケンシングサービス

次世代シーケンサーの普及はバイオ技術研究に画期的な変革をもたらしました。当社は本技術を広く活用していただけるよう、専門の技術者がニーズに則した形でデータを解析、提供いたします。環境中の 16SrRNA ゲノム配列の一部を網羅的に解析することで土壤中や廃棄物埋立処分場などの様々な微生物叢の組成や菌叢の特定に、新規遺伝子の情報やゲノム情報が少ないため、従来の方法では解析が出来なかった生物の遺伝子発現解析など、さまざまなご要望に対応いたします。

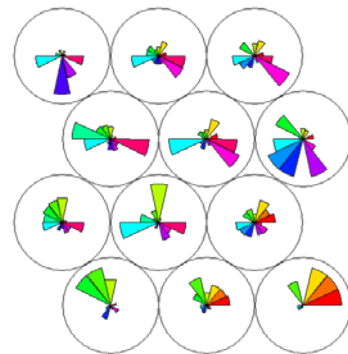
本技術はゲノム医療や創薬分野を中心に利用されていますが、環境分野（環境水や工場排水が生物に及ぼす影響評価等）、農林水産分野（土壌微生物叢の作物へ及ぼす効果等）、美容分野（お肌の常在菌叢解析による美肌管理等）など、幅広い分野での利用が可能です。最新のバイオテクノロジーを導入して、これまで遺伝子とは関わりの少なかった分野で一歩先を目指しませんか。



IonPGM™次世代シーケンサーによる
シーケンシングサービス

■ 生体影響試験

工場排水等の規制は現在、個別の化学物質毎の濃度規制が主体ですが、欧米ではこれに加えて生物による評価試験手法が採用されており、わが国でもその対応が進みつつあります。当社は淡水性、海洋性甲殻類（ミジンコ類）を中心とした水生生物による排水等の評価試験サービスを実施しています。自社の放流水に生物がどんな反応を示すか、新しく開発された物質に生物がどんな反応を示すか、まずは試験してはどうかでしょうか。またこうした試験用生物の飼料として、洗浄済クロレラ、YCT（Yeast, Cerophyll and Trout Chow）の販売も行っております。



Acidobacteria_gp1	Bacilli	Flavobacteria
Acidobacteria_gp2	Bacteroidetes_incertae_sedis	Gammaproteobacteria
Acidobacteria_gp3	Betaproteobacteria	Gemmatimonadetes
Actinobacteria	Clostridia	Sphingobacteria
Alphaproteobacteria	Deltaproteobacteria	

土壌菌叢解析結果例



生体影響試験（イメージ）